

環境に関する市民アンケート調査 報告書

令和7年 12月

山口市

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市の環境政策の指針となる山口市環境基本計画に掲げた施策を総合的かつ計画的に推進するにあたり、皆様が日頃感じておられる環境に対する思いや、市の環境行政に対する意見・要望をお聞かせいただき、今後の環境行政の運営に反映させることを目的に実施した。

2 調査の対象

アンケートの調査対象者は、令和7年8月1日現在の住民基本台帳をもとに、18歳以上の市民から無作為に抽出した2,000人を対象に実施した。

3 調査方法

郵送配布、郵送またはWeb回答にて回収とした。なお、回答は宛名本人が記入することを原則としたが、本人が記入できない場合は、代筆可能とした。

4 調査期間

令和7年9月25日に発送し、令和7年10月31日到着分までを集計し、分析した。

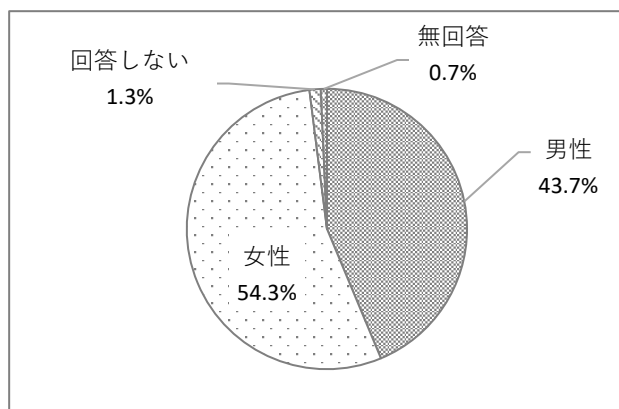
5 回収結果

発送数	2,000人
転出等による返却	13人
対象者数	1,987人
回収数	939人（文書で回答531人、ウェブで回答408人）
有効回収率	47.3%

Ⅱ 回答者の構成

1 性別

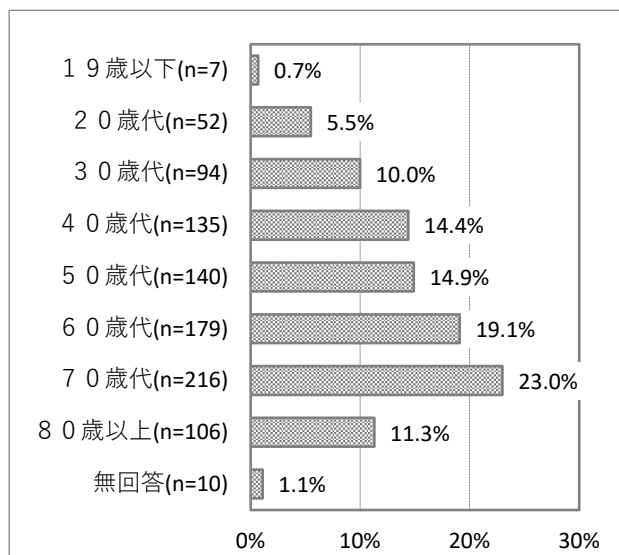
No.	カテゴリ	件数	%
1	男性	410	43.7%
2	女性	510	54.3%
3	回答しない	12	1.3%
4	無回答	7	0.7%
	計	939	100.0%



(N=939)

2 年齢別

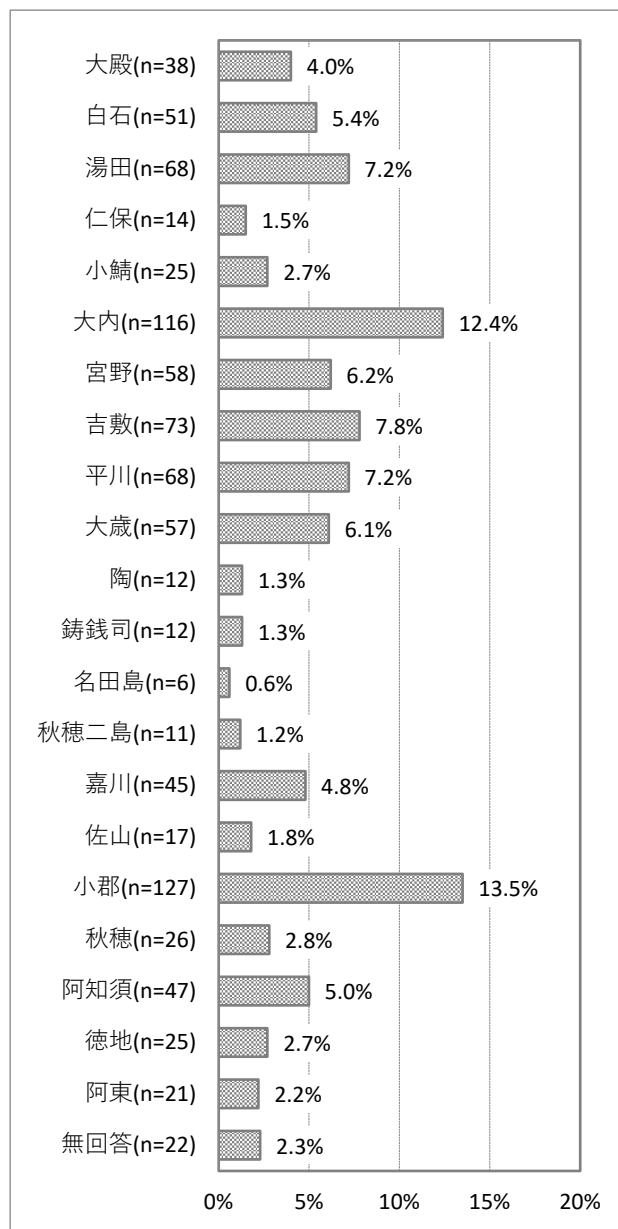
No.	カテゴリ	件数	%
1	19 歳以下	7	0.7%
2	20 歳代	52	5.5%
3	30 歳代	94	10.0%
4	40 歳代	135	14.4%
5	50 歳代	140	14.9%
6	60 歳代	179	19.1%
7	70 歳代	216	23.0%
8	80 歳以上	106	11.3%
9	無回答	10	1.1%
	計	939	100.0%



(N=939)

3 地域別

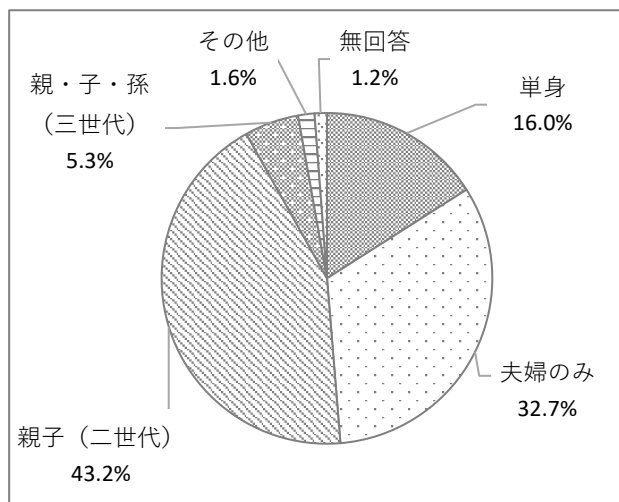
No.	カテゴリ	件数	%
1	大殿	38	4.0%
2	白石	51	5.4%
3	湯田	68	7.2%
4	仁保	14	1.5%
5	小鯖	25	2.7%
6	大内	116	12.4%
7	宮野	58	6.2%
8	吉敷	73	7.8%
9	平川	68	7.2%
10	大歳	57	6.1%
11	陶	12	1.3%
12	鑄銭司	12	1.3%
13	名田島	6	0.6%
14	秋穂二島	11	1.2%
15	嘉川	45	4.8%
16	佐山	17	1.8%
17	小郡	127	13.5%
18	秋穂	26	2.8%
19	阿知須	47	5.0%
20	徳地	25	2.7%
21	阿東	21	2.2%
22	無回答	22	2.3%
	計	939	100.0%



(N=939)

4 家族構成

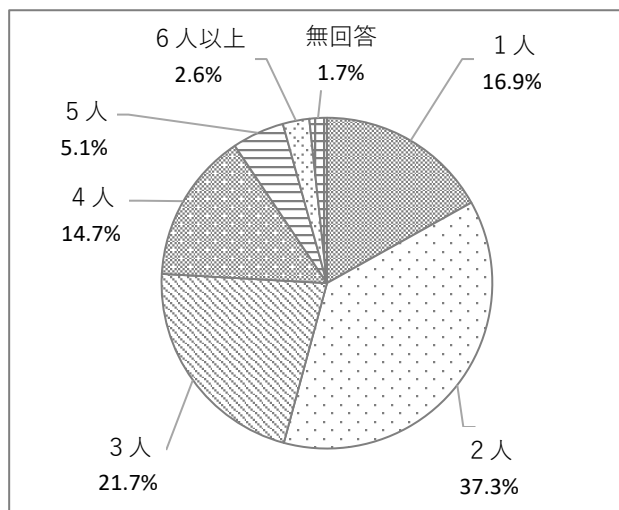
No.	カテゴリ	件数	%
1	単身	150	16.0%
2	夫婦のみ	307	32.7%
3	親子（二世代）	406	43.2%
4	親・子・孫（三世代）	50	5.3%
5	その他	15	1.6%
6	無回答	11	1.2%
	計	939	100.0%



(N=939)

5 同居者の人数

No.	カテゴリ	件数	%
1	1人	159	16.9%
2	2人	350	37.3%
3	3人	204	21.7%
4	4人	138	14.7%
5	5人	48	5.1%
6	6人以上	24	2.6%
7	無回答	16	1.7%
	計	939	100.0%



(N=939)

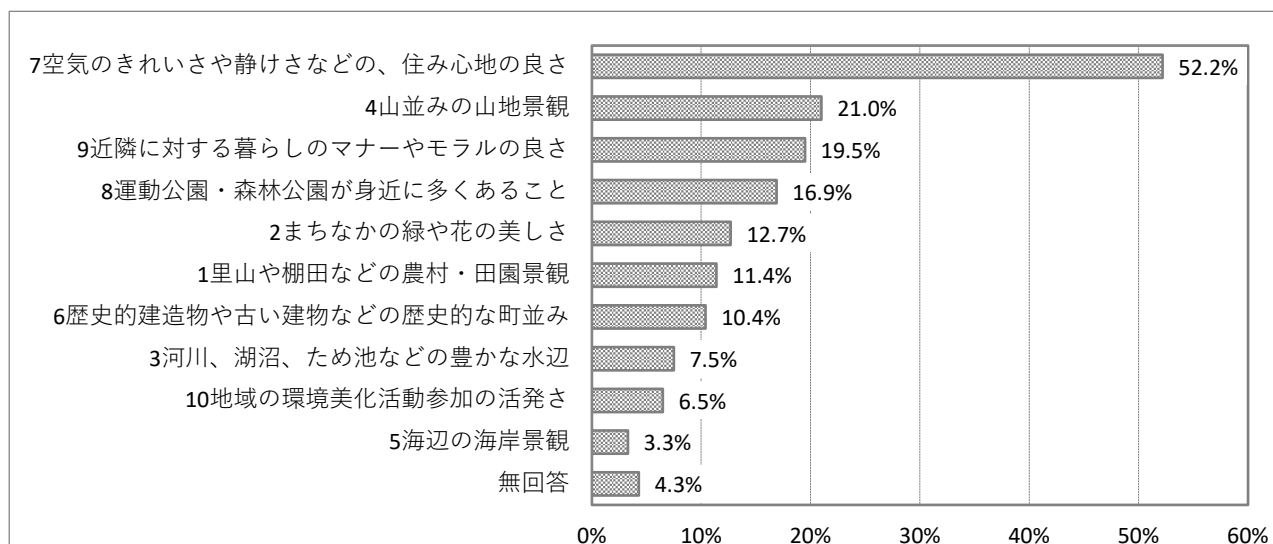
Ⅲ 調査結果

1 環境全般について

問1 あなたがお住まいの地域で素晴らしいと思うことや誇りに思うことは何ですか。

[〇は2つまで]

(N=939)

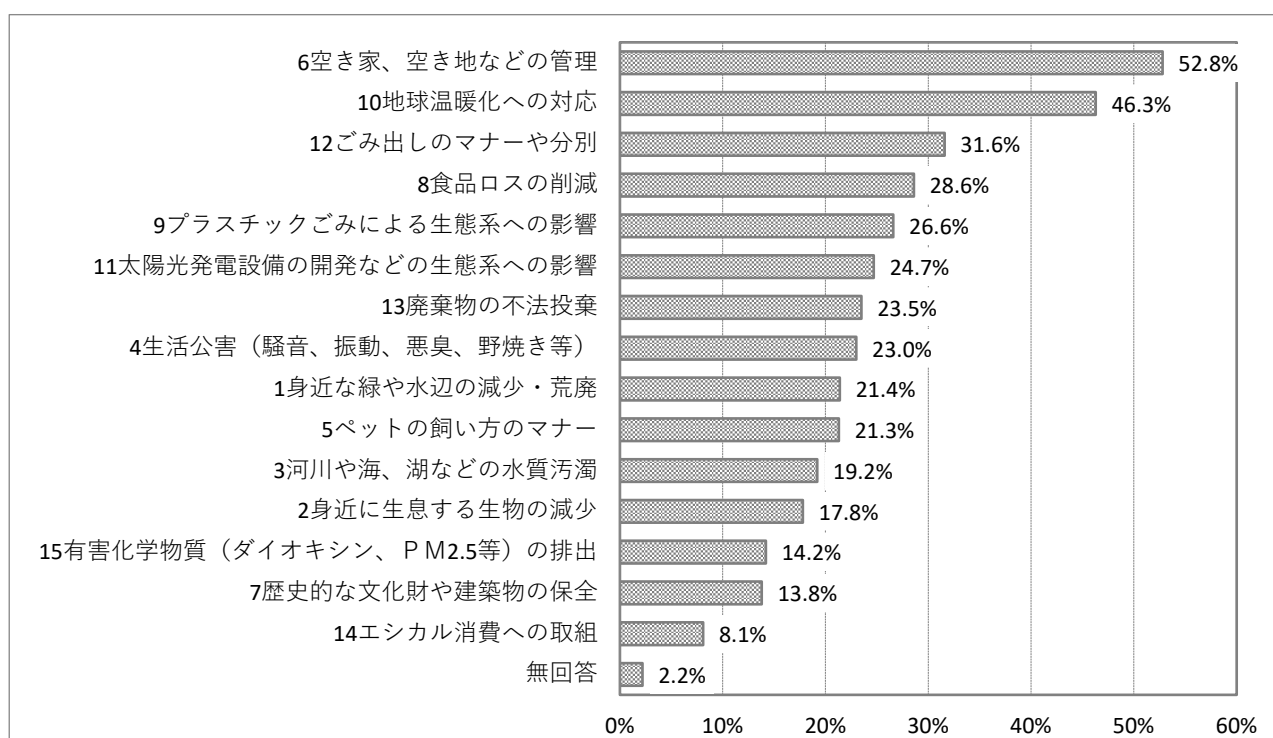


半数以上の人々が「空気のきれいさや静けさなどの、住み心地の良さ」(52.2%) が素晴らしいと回答しており、他の項目に比べて突出している。

問2 あなたが、次の環境問題について、関心があるものは何ですか。

[該当項目すべてに〇]

(N=939)

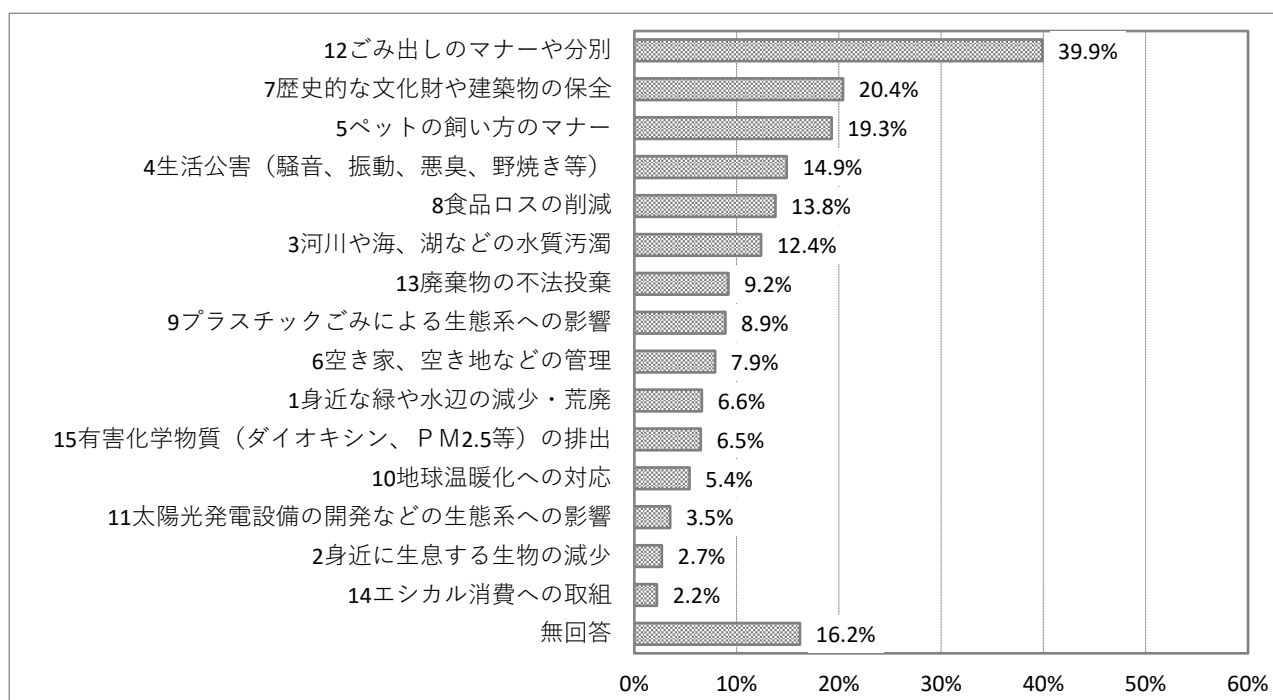


「空き家、空き地などの管理」が52.8%、次いで「地球温暖化への対応」が46.3%と関心が高い。

問3 あなたが、次の環境問題について、改善されていると思う項目に○をつけてください。

[該当項目すべてに○]

(N=939)



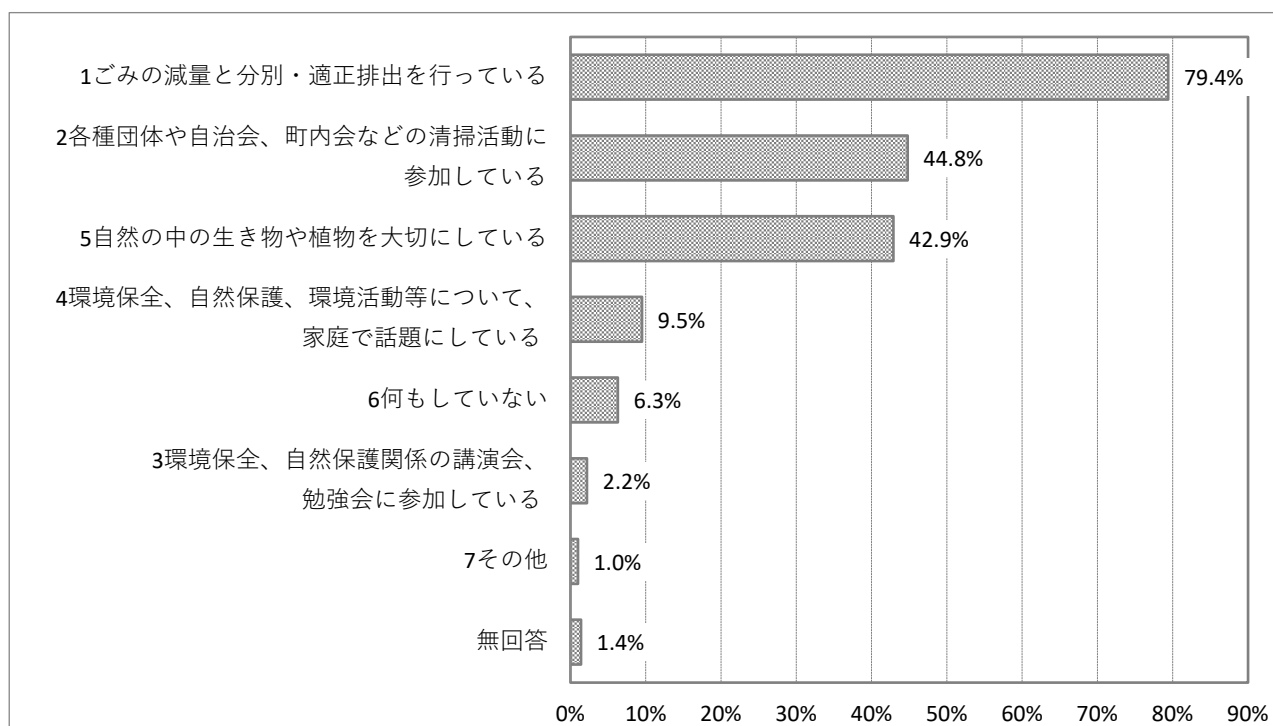
「ごみ出しのマナーや分別」が39.9%と最も多く、回答者の約4割が関心を寄せていることがわかる。

2 自然環境や生活環境について

問4 あなたは、何か環境に優しい行動をしていますか。

[該当項目すべてに○]

(N=939)



「ごみの減量と分別・適正排出を行っている」が79.4%と突出して多く、「各種団体や自治会、町内会などの清掃活動に参加している」が44.8%、「自然の中の生き物や植物を大切にしている」が42.9%と多い。

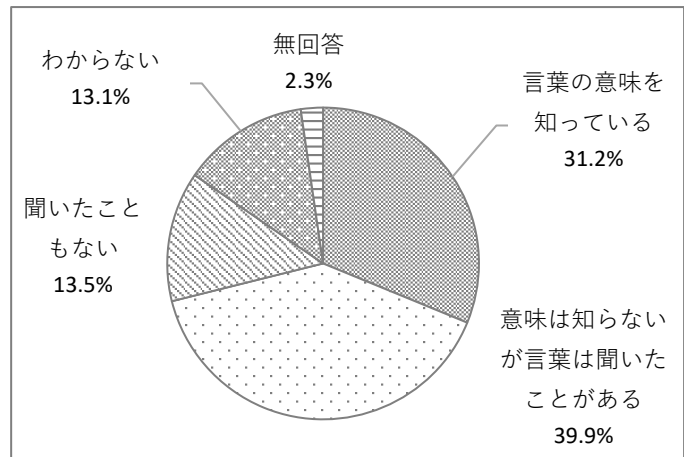
(N=939)

問5

あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。

[どれか1つに○]

「言葉の意味を知っている」31.2%、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」39.9%を合わせると 71.1%に達し、「生物多様性」という言葉自体の認知度は高いといえる。



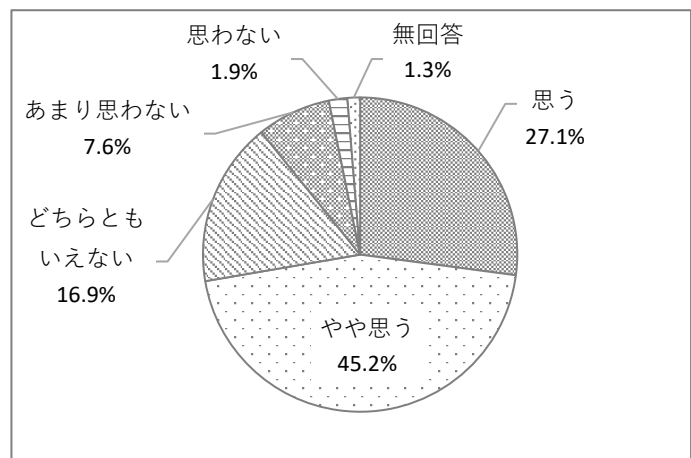
(N=939)

問6

あなたのお住まいの周辺は、空気や河川等の水辺がきれいだと思いますか。

[どれか1つに○]

「思う」が27.1%、「やや思う」が45.2%で、合わせると 72.3%の人が住まいの周辺がきれいだと感じていることがわかる。一方で、「思わない」1.9%、「あまり思わない」7.6%と、約1割の人がきれいだと思っていないこともわかる。



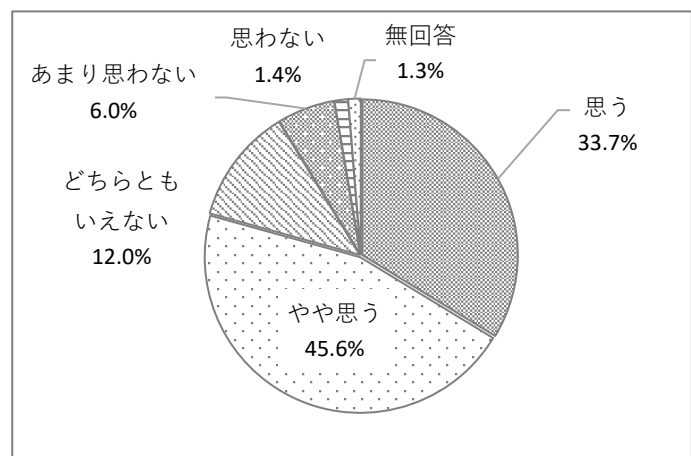
(N=939)

問7

あなたのお住まいの周辺は、清潔で衛生的な生活ができる環境になっていると思いますか。

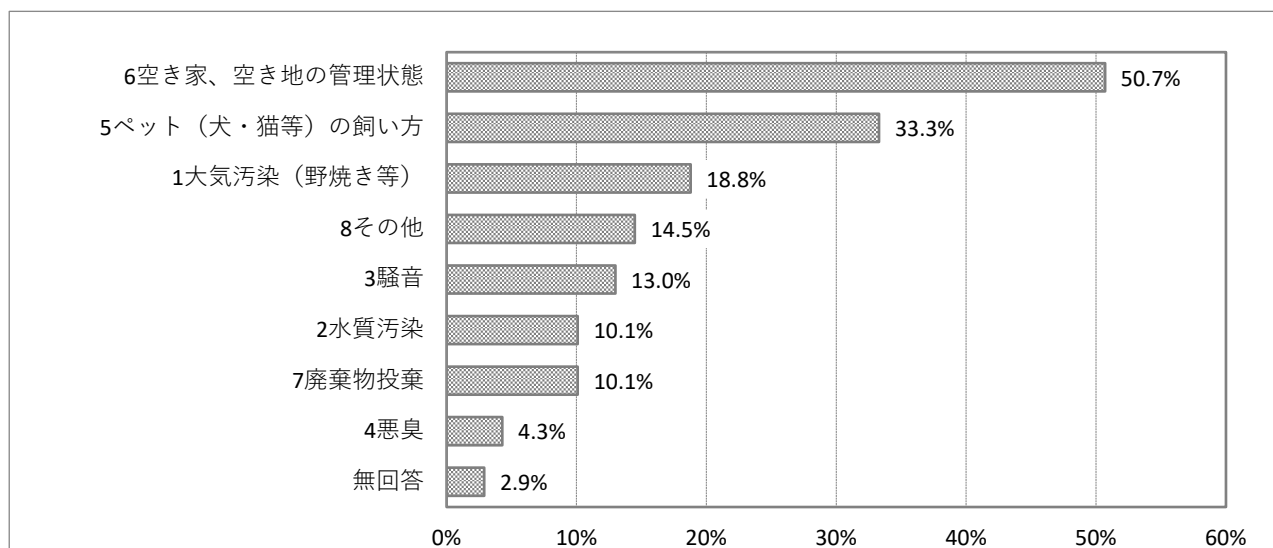
[どれか1つに○]

「思う」が33.7%、「やや思う」が45.6%で、合わせると 79.3%の人が清潔で衛生的な生活ができる環境だと感じていることがわかる。一方で、「思わない」1.4%、「あまり思わない」6.0%と、7.4%の人が清潔で衛生的な生活ができる環境だと思っていないこともわかる。



問8 問7で「あまり思わない」「思わない」とお答えの方にお聞きします。どうしてそのように思われますか。[該当項目すべてに○]

(N=69)

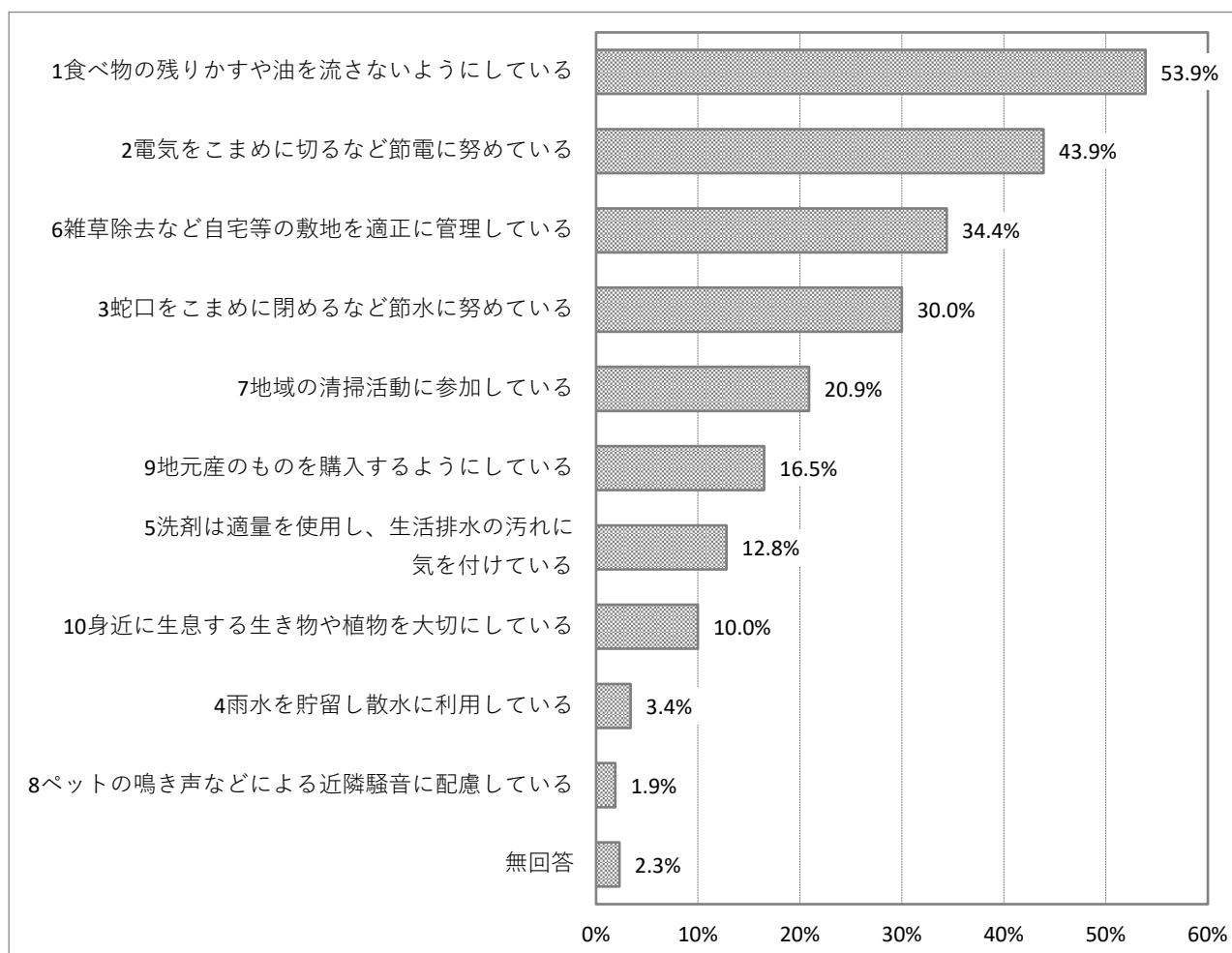


「空き家、空き地の管理状態」50.7%が最も多く、次いで「ペット（犬・猫等）の飼い方」33.3%が多い。

問9 以下の生活環境に関する各取組について、あなたの取組状況をお答えください。

[○は2つまで]

(N=939)



「食べ物の残りがすや油を流さないようにしている」53.9%が最も多い。次いで「電気をこまめに切るなど節電に努めている」43.9%、「雑草除去など自宅等の敷地を適正に管理している」34.4%、「蛇口をこまめに閉めるなど節水に努めている」30.0%が多い。「ペットの鳴き声などによる近隣騒音に配慮している」は1.9%、「雨水を貯留し散水に利用している」は3.4%と取り組んでいる人の割合が少ない。

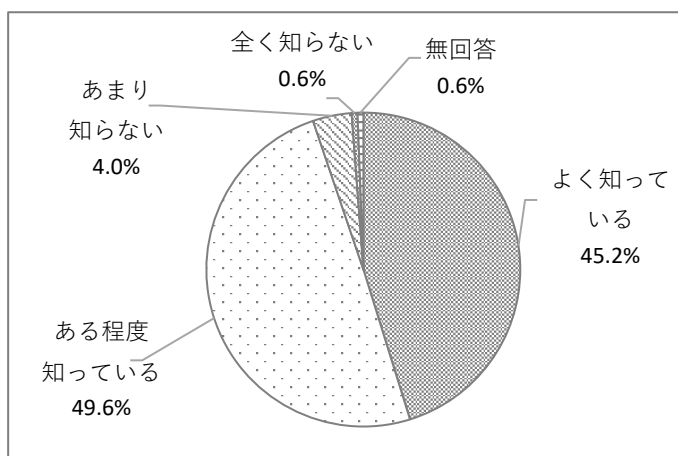
3 資源の有効活用と環境負荷について

(N=939)

問10

あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。〔どれか1つに○〕

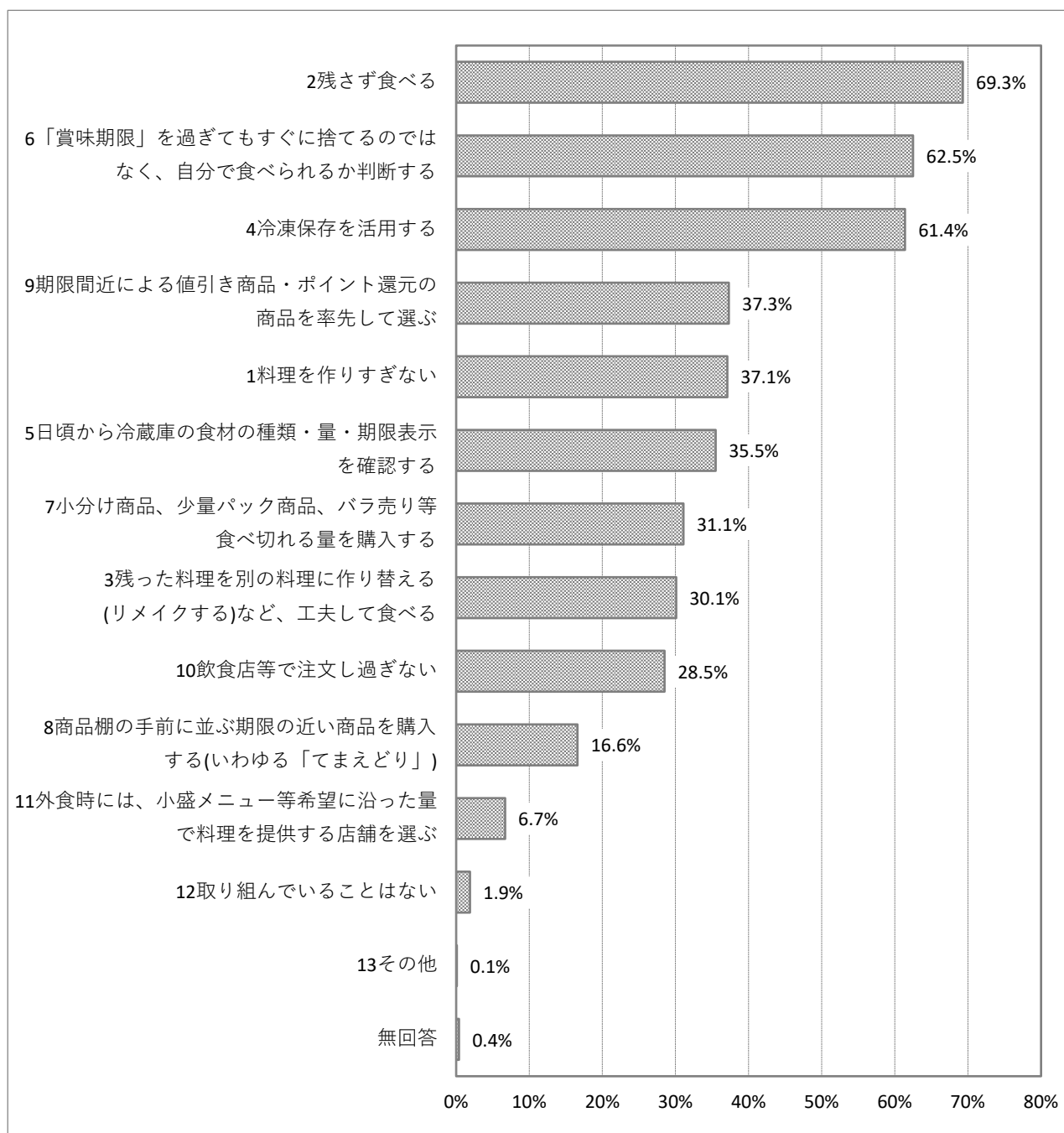
「よく知っている」45.2%、「ある程度知っている」49.6%で、合わせると94.8%の人が食品ロス問題の存在を認識しており、認知度が非常に高いといえる。



問 1 1 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

[該当項目すべてに○]

(N=939)



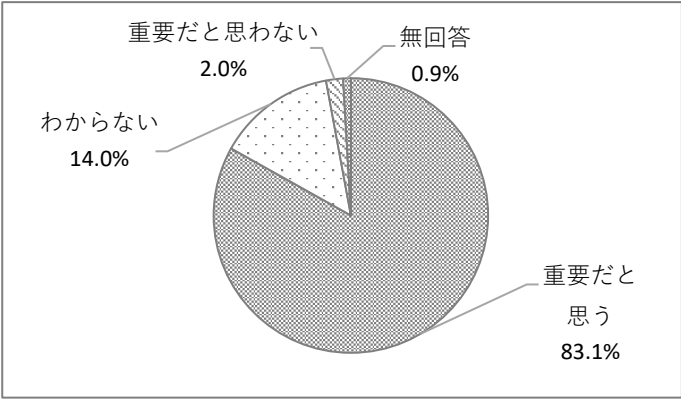
「残さず食べる」が69.3%、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が62.5%、「冷凍保存を活用する」が61.4%、と3つの取り組みに6割以上の人に取り組んでいることがわかる。「取り組んでいることはない」と回答した人は全体の1.9%と非常に少ない。

(N=939)

問 1 2

あなたは、使い捨てプラスチックによる環境への影響は、重要な問題だと思いますか。
[どれか 1 つに○]

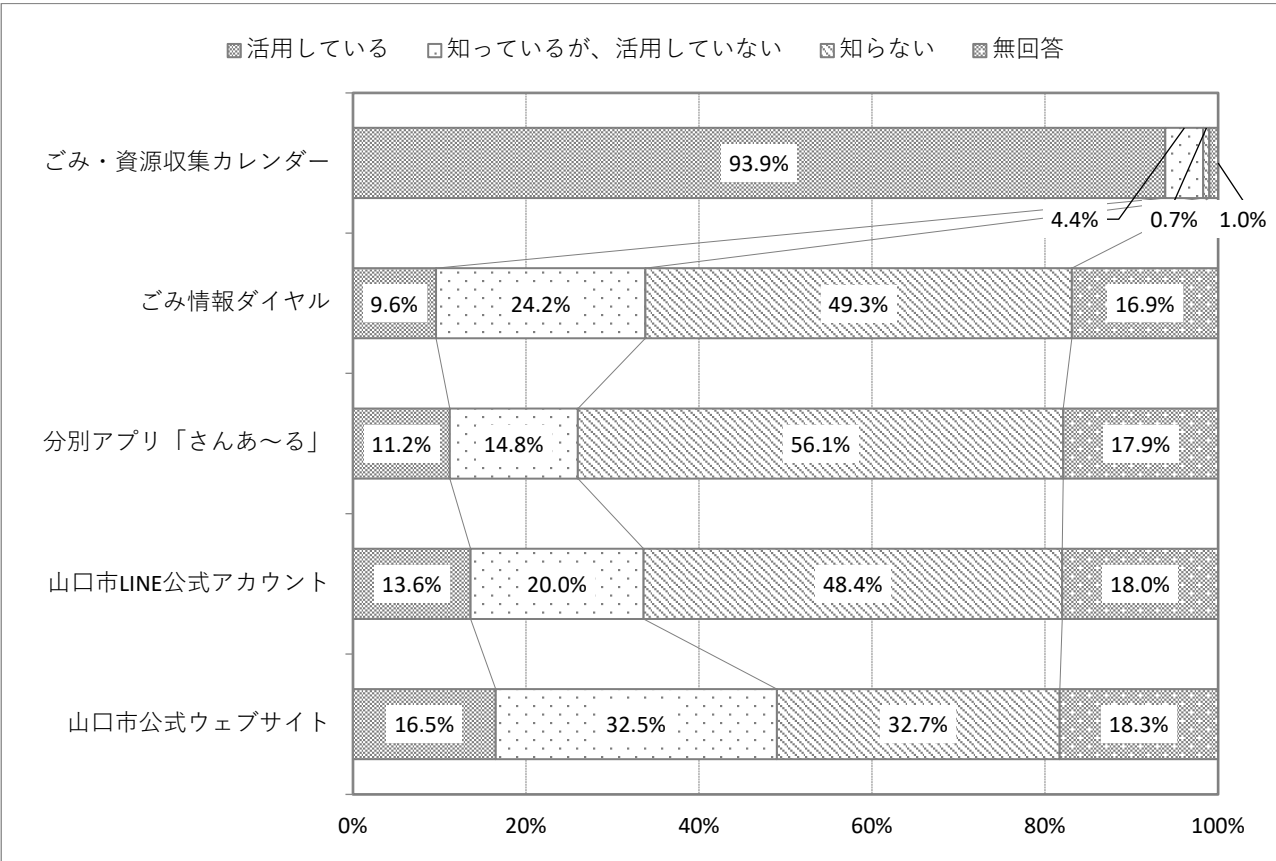
「重要だと思う」と回答した人が 83.1%で、8割の人がプラスチックによる環境への影響を懸念しているといえる。



4 ごみの分別・リサイクルについて

問 1 3 あなたがごみを分けたり、出したりする際に、次の情報を活用していますか。
[該当する番号に○]

(N=939)



「ごみ・資源収集カレンダー」は 93.9%が活用しており、最も多い。「山口市公式ウェブサイト」は 16.5%が活用しているが、「知っているが、活用していない」層が 32.5%と多い。知らないと回答した人が多いのは、「分別アプリ「さんあ〜る」」56.1%、「ごみ情報ダイヤル」49.3%、「山口市 LINE 公式アカウント」48.4%で、この 3 つは認知度が低いといえる。

「ごみ・資源収集カレンダー」は、認知率・活用率ともに非常に高いことが分かるが、インターネットを活用した情報源は、認知率が低いといえる。

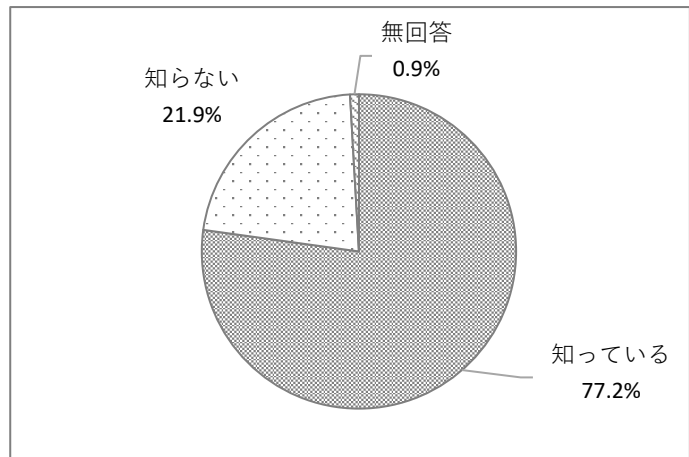
(N=939)

問 1 4

充電式電池、モバイルバッテリー、ボタン電池、電子たばこは、「燃やせないごみ」として出すことができません。金属端子部分をテープで覆い、市の施設の屋内に設置している回収容器に出すことになっていますが、この排出方法を知っていますか。

[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 77.2% で、7 割以上の人に排出方法が認知されている。



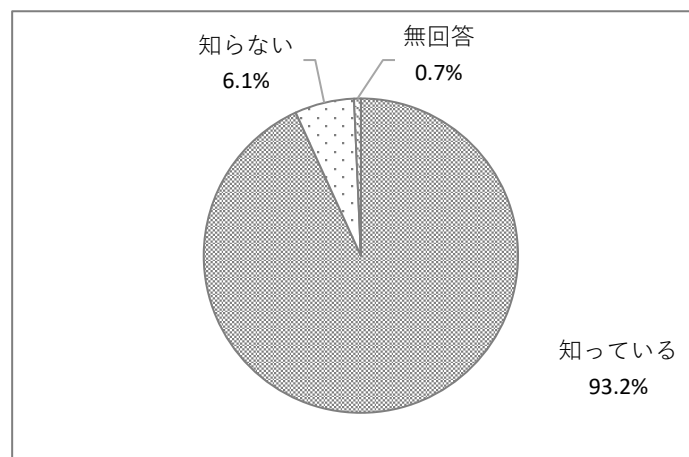
(N=939)

問 1 5

充電式電池、モバイルバッテリー、ボタン電池、電子たばこは、「燃やせないごみ」に混入すると、ごみ収集車や処理施設で出火する危険性があることを知っていますか。

[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 93.2% で、9 割以上の人に火災の危険性が認知されている。



5 地球温暖化対策について

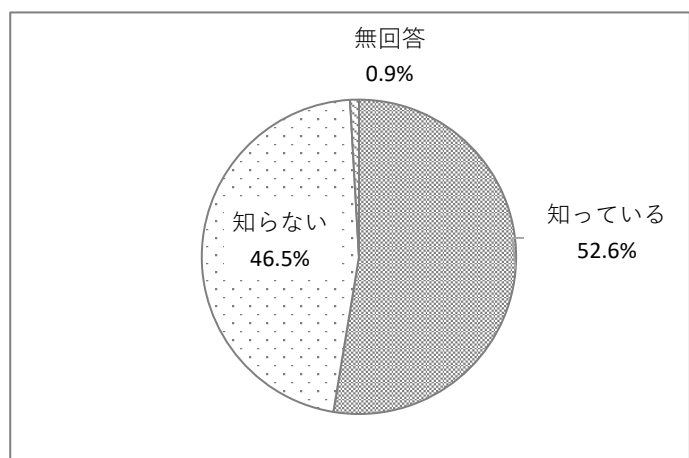
(N=939)

問 1 6

あなたは、改正地球温暖化対策推進法により、我が国が温室効果ガス排出量を 2050 年までに実質ゼロ、いわゆるカーボンニュートラルを目指すとともに、政府が 2030 年度に 2013 年度比で 46%削減するという、新たな目標を掲げていることを知っていますか。

[どちらかに○]

「知っている」と回答した人が 52.6% で、半数の人が国の目標を知っている。

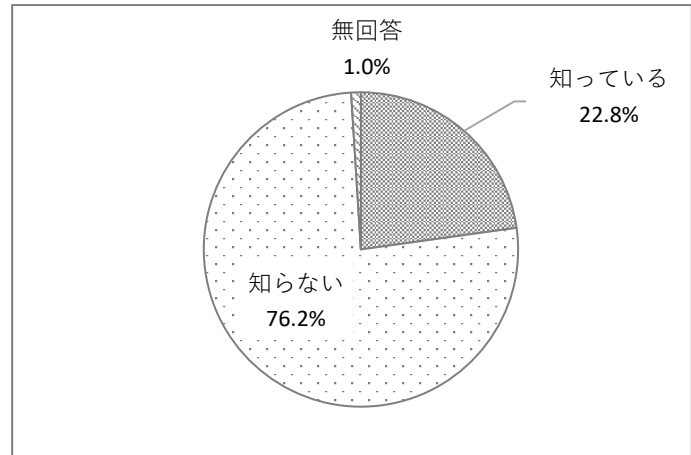


(N=939)

問 1 7

あなたは、脱炭素社会の実現に向けた新たな国民運動「デコ活」を知っていますか。
[どちらかに○]

「知っている」22.8%に対して、「知らない」と回答した人が 76.2%で、認知度が低いことがわかる。

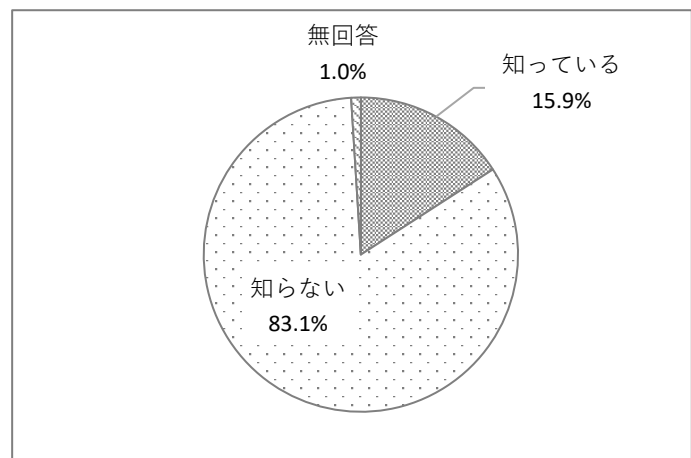


(N=939)

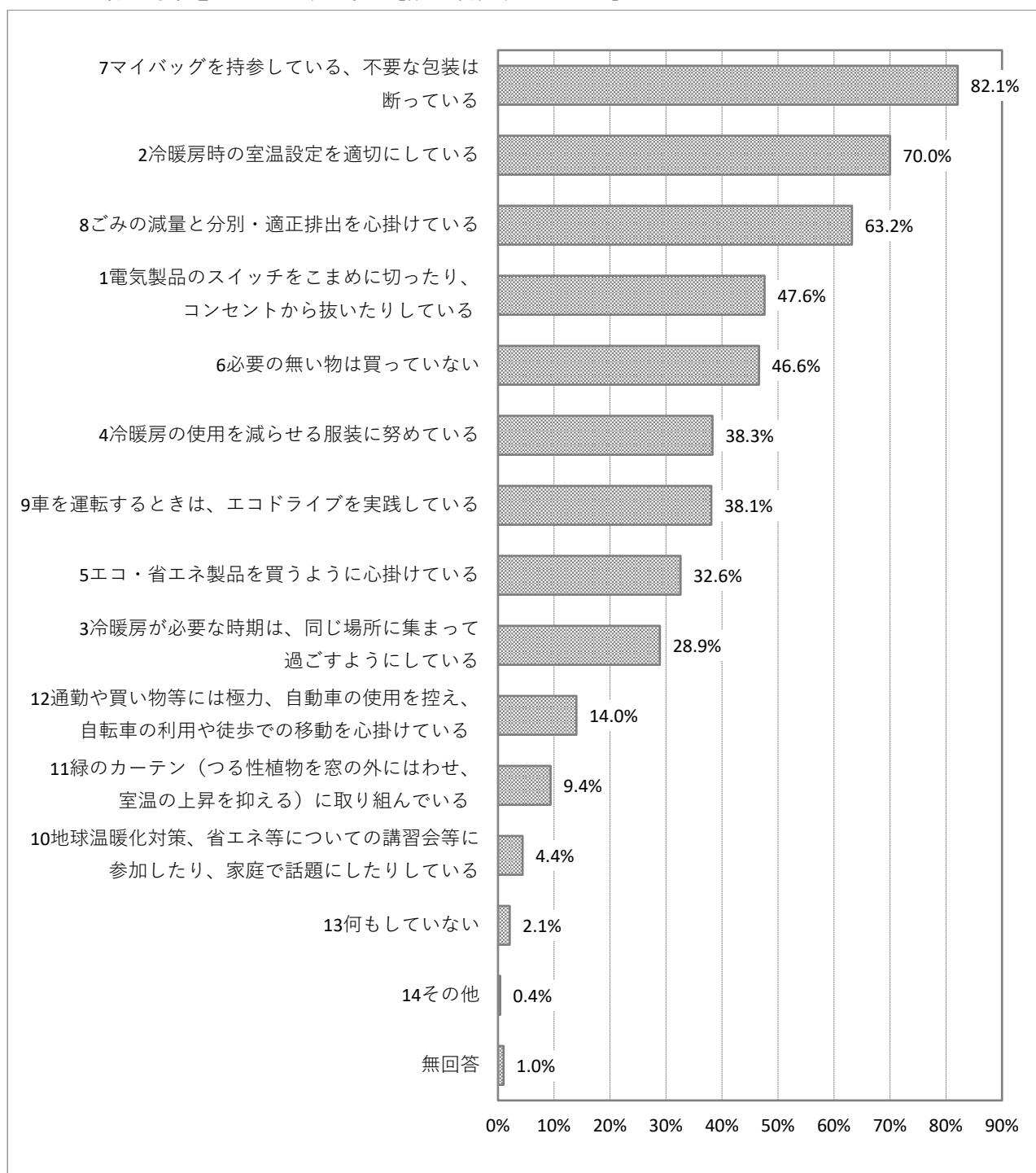
問 1 8

あなたは、山口市が 2021 年（令和 3 年）12 月に「山口市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050 年までに温室効果ガス実質排出量実質ゼロを目指し、地球温暖化という課題に向き合い、地域脱炭素の取組に積極的に取り組む決意表明をしたことを知っていますか。
[どちらかに○]

「知っている」15.9%に対して、「知らない」と回答した人が 83.1%で、認知度が低いことがわかる。



問１９ 今、世界中で地球温暖化対策のために様々な取組が進められています。あなたは、何か地球温暖化対策をしていますか。 【該当項目すべてに○】 (N=939)



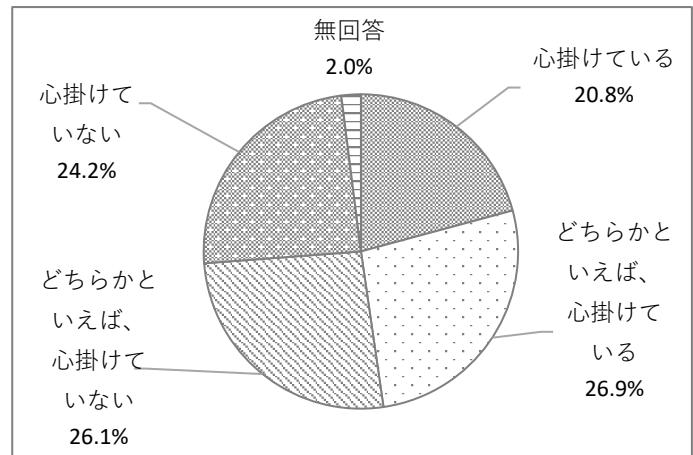
「マイバッグを持参している、不要な包装は断っている」と回答した人が 82.1% で、最も多く取り組んでいる。次いで「冷暖房時の室温設定を適切にしている」が 70.0%、「ごみの減量と分別・適正排出を心掛けている」が 63.2% と多くの人が取り組んでいる。

(N=939)

問 2 0

山口市は、世帯当たりのガソリン購入量が多いという統計結果が公表されています。そのため、市では公共交通機関や自転車などを利用する「スマートムーブ」の取組に力を入れています。あなたは、近距離移動には自転車の利用や徒歩での移動を心掛けていますか。

[どれか 1 つに○]



「心掛けている」が 20.8%、「どちらかといえば、心掛けている」が 26.9%で、47.7%の人が自転車や徒歩での移動を意識している。一方、「心掛けていない」が 24.2%、「どちらかといえば、心掛けていない」が 26.1%と、自転車や徒歩での移動を意識していない人が 50.3%と半数を超えている。

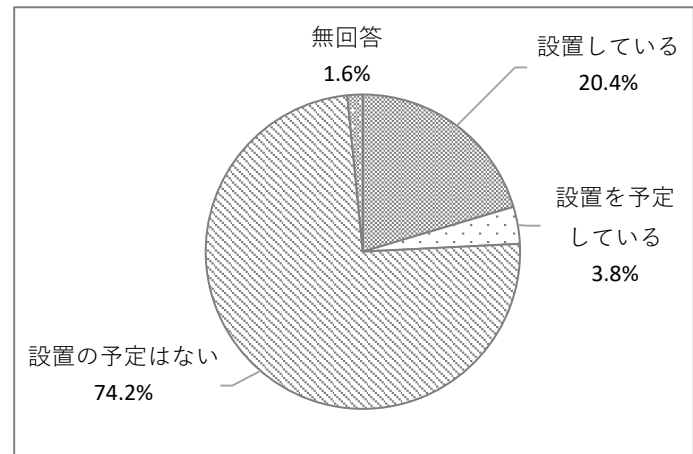
(N=939)

問 2 1

あなたの家庭で、再生可能エネルギーの設備を設置または設置を予定していますか。

[どれか 1 つに○]

「設置している」と回答した人は 20.4%にとどまる。「設置の予定はない」と回答した人が 74.2%で、再生可能エネルギーの設備を設置する人が少ないことがわかる。



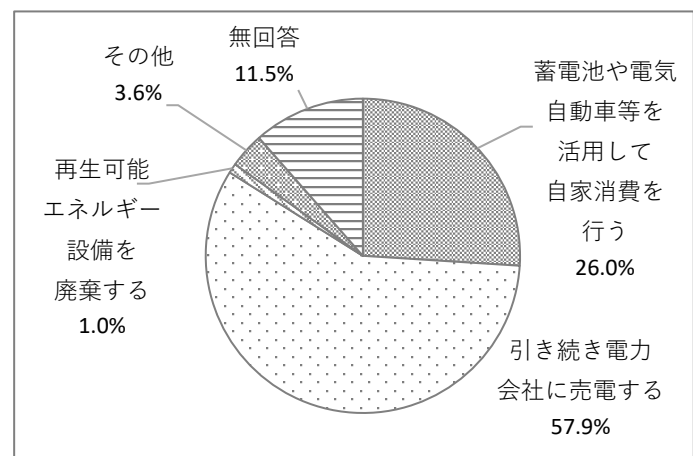
(N=192)

問 2 2

問 2 1 で「設置している」とお答えの方のうち、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT 制度)」に基づいた電気の売電を行う方にお聞きします。売電期間満了後の予定をお答えください。

[どれか 1 つに○]

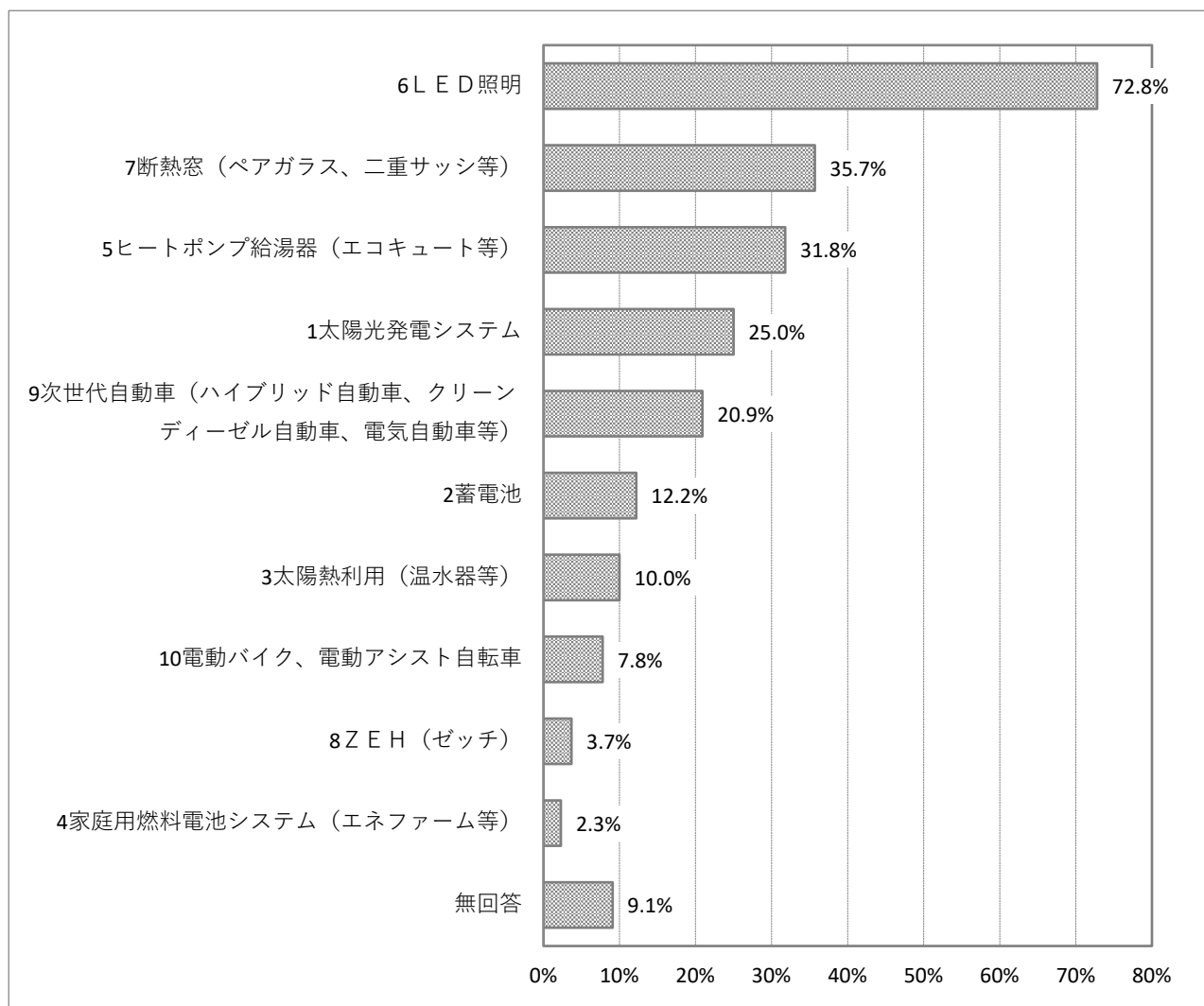
「引き続き電力会社に売電する」が最も多く 57.9%だった。次に「蓄電池や電気自動車等を活用して自家消費を行う」が 26.0%である。



問23 あなたの家庭で、具体的にどのような再生可能エネルギーを用いた設備や、省エネルギーにつながる設備を導入されていますか。もしくは導入したいと思いますか。

[該当項目すべてに○]

(N=939)



「LED照明」と回答した人が72.8%と最も多く突出している。「断熱窓（ペアガラス、二重サッシ等）」が35.7%、「ヒートポンプ給湯器（エコキュート等）」が31.8%と、断熱性や省エネ向上の設備導入も進んでいる。

「ZEH（ゼッチ）」は3.7%、「家庭用燃料電池システム（エネファーム等）」は2.3%と導入が進んでいないと言える。

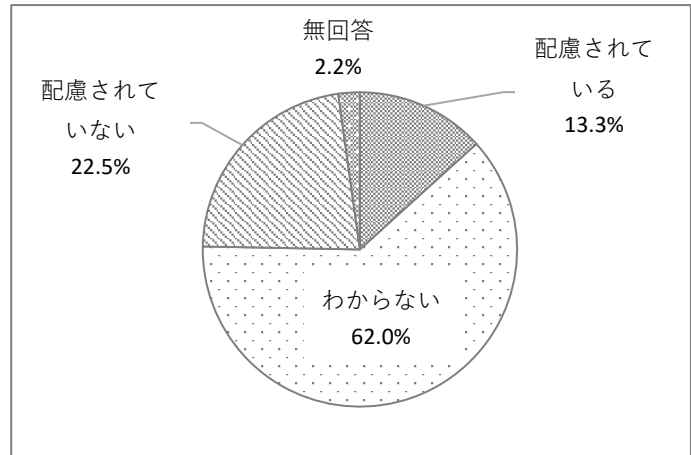
(N=939)

問 2 4

市内では、徐々に太陽光発電設備（ソーラーパネル）の設置が増えてきています。その中で、あなたのお住まい周辺の太陽光発電設備等は、周囲の自然や景観、住環境に配慮されていると思いますか。

[どれか 1 つに○]

「配慮されている」と回答した人が 13.3% に対して、「配慮されていない」と回答した人は 22.5% で、配慮されていないと回答した人の方が多い。



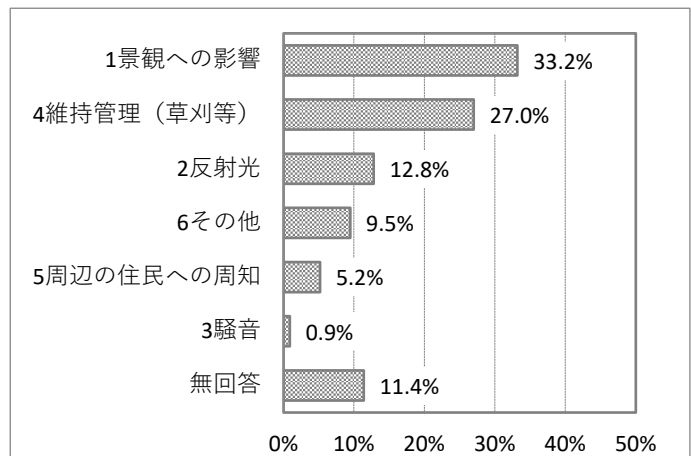
(N=211)

問 2 5

問 2 4 で「配慮されていない」とお答えの方にお聞きます。一番の問題は何ですか。

[どれか 1 つに○]

「景観への影響」と回答した人が最も多く 33.2% だった。その他の意見では、「自然破壊に繋がっている」「災害につながらないか」「設備が放置されかねない」「廃棄はできるのか」など、環境や処分方法を不安視する意見があった。



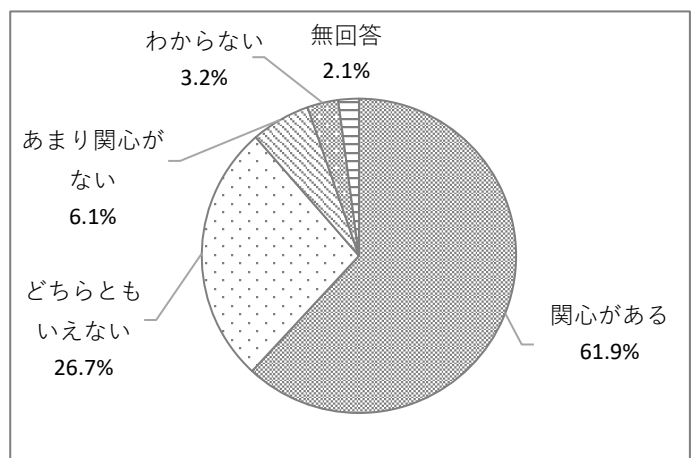
(N=939)

問 2 6

我が国では、近年、記録的豪雨や猛暑、台風による自然災害が増えています。その中で、あなたは、適切に防災アプリなどで情報収集するなど、気候変動や適応策（熱中症対策や災害・異常気象に備えての安全確認等）に関心を持っていますか。

[どれか 1 つに○]

「関心がある」と回答した人が 61.9% と 6 割以上を占めている。



6 環境保全の取組や社会経済のしくみづくりについて

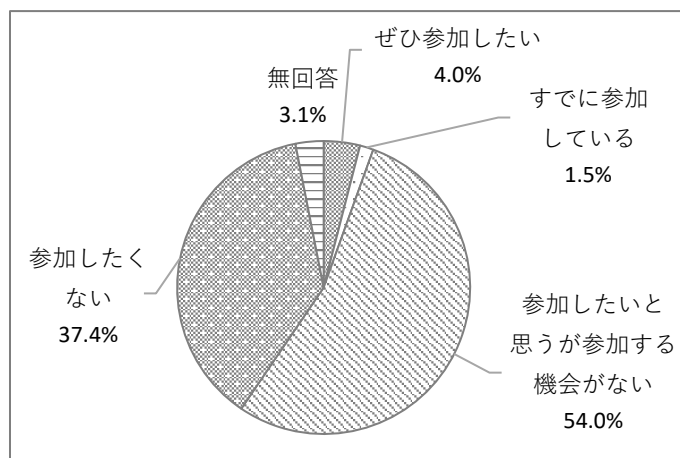
(N=939)

問 2 7

市が行っている「環境学習」や「お気軽講座」に参加したいと思いますか。

[どれか1つに○]

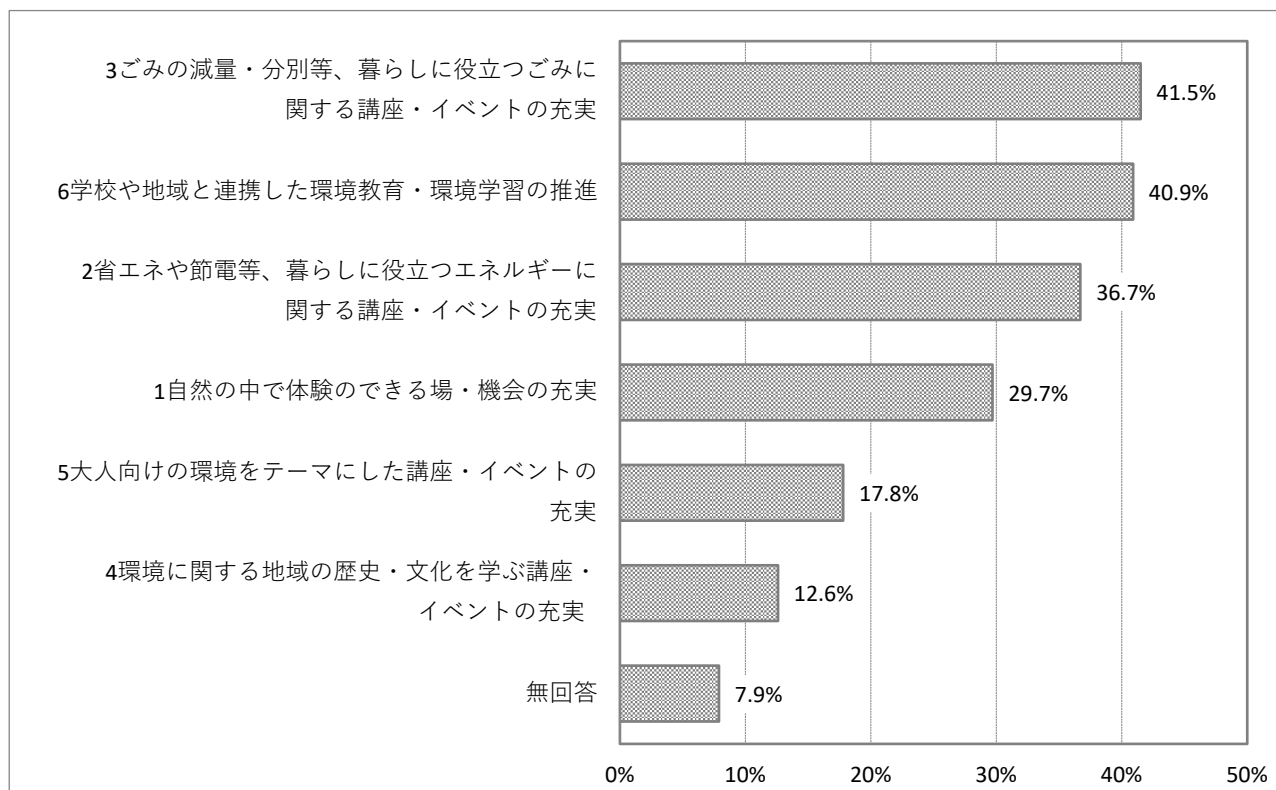
「ぜひ参加したい」(4.0%)、「すでに参加している」(1.5%)、「参加したいと思うが参加する機会がない」(54.0%)と、6割弱の人は参加意欲があることがわかる。



問 2 8 環境教育・環境学習の一層の充実を図っていくため、市に対して、どのような取組を期待しますか。

[○は3つまで]

(N=939)



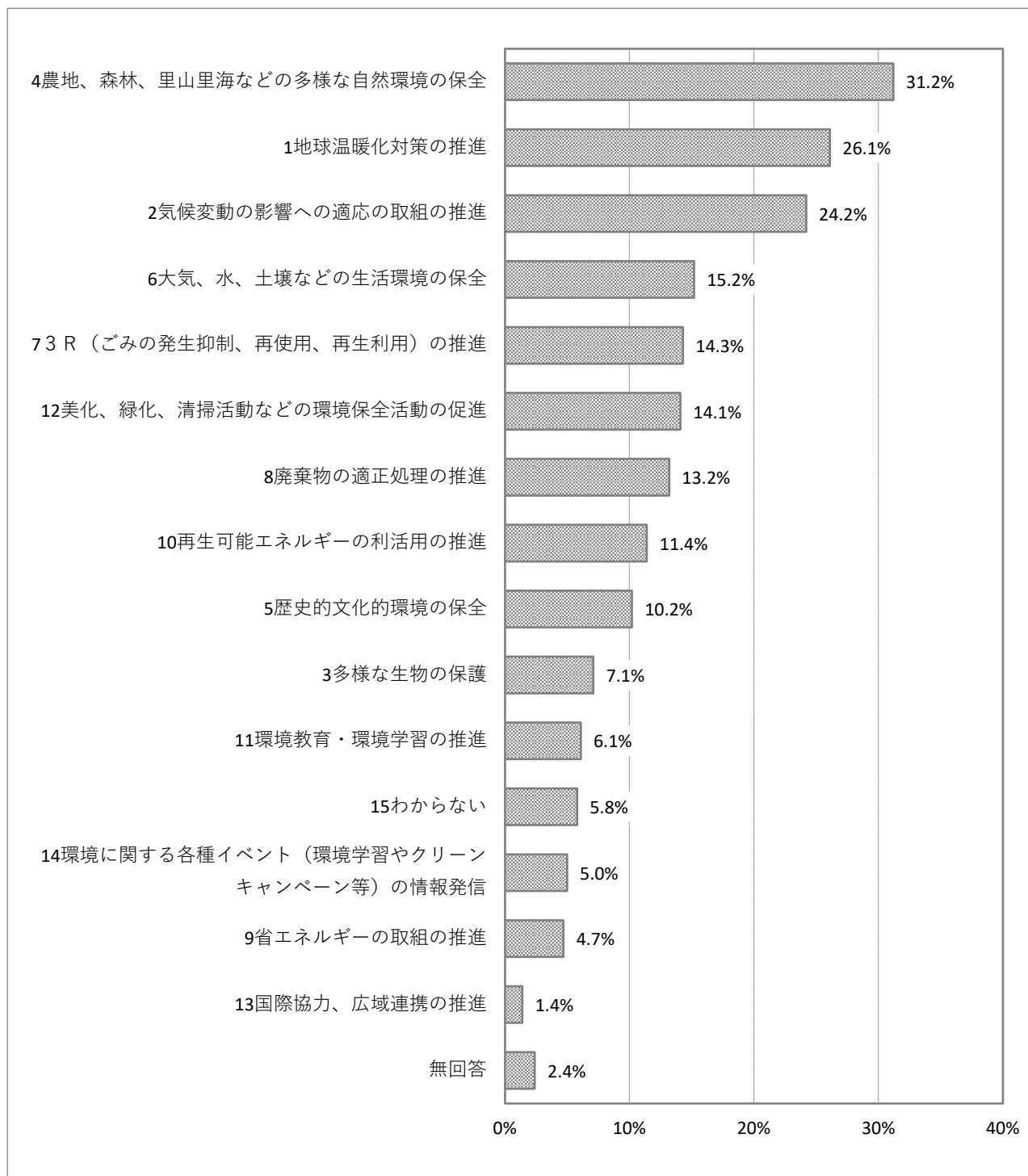
「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座・イベントの充実」が41.5%と、ごみに関する実践的な内容が期待されていることがわかる。次いで「学校や地域と連携した環境教育・環境学習の推進」が40.9%と多く、環境教育を促進する取り組みへの期待が高い。次に「省エネや節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベントの充実」が36.7%と高い。ごみの減量や省エネなど、日常生活に密接に関わるテーマが上位を占める。

7 環境保全の推進に対する行政への要望について

問29 将来の本市の環境をより良いものとするために、今後、市が特に重視すべき点はどれですか。

[〇は2つまで]

(N=939)



「農地、森林、里山里海などの多様な自然環境の保全」が31.2%と、自然環境を守る取り組みが最も重視されている。次いで「地球温暖化対策の推進」が26.1%、「気候変動の影響への適応の取組の推進」が24.2%と回答が多く、地球温暖化や気候変動への取り組みに高い関心があることがわかる。